

事業番号	05 10 08	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	薬物乱用防止啓発事業			担当課	部局	健康福祉部	
					課・局・室	薬事管理課	
総合5か年計画	プロジェクト		E-mail		yakuji@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	4－2 県民生活の安全確保					
		4 食品・医薬品等の安全確保					
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針		実施期間	S22 ～			
	施策展開						

1 事業の概要

目指す姿	薬物乱用防止に関する意識の高揚を図り、覚醒剤、危険ドラッグ等の薬物乱用者を減少させる。											
現状（予算編成時）	依然として後を絶たない薬物乱用を防止するため、県民各層に対し、薬物乱用がもたらす健康被害と社会に与える重大な弊害を周知し、薬物乱用防止意識の高揚を図り、薬物乱用のない社会環境づくりを推進する必要がある。											
県が関与する理由	県関与の必要性あり		【左記の説明、根拠法令等】									
	県民との協働による実施： 実施中		麻薬及び向精神薬取締法、第四次薬物乱用防止五か年計画 薬物乱用防止意識の高揚のため、県民との協働で街頭キャンペーン等に取り組んでいる。									
成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）											
	・「薬物乱用防止」意識啓発事業として、高等学校20校（委託先の受入れ可能数）で講演会を実施する。 ・薬物乱用防止指導員による啓発や街頭キャンペーンを実施する。指導員活動回数は直近5年間の平均（618回）を上回る数を目標に設定する。											
	② 事業内容（単位：千円）											
	項目	実施方法	H28事業実績		H28 （当初）	H28 （決算）	H29 （当初）					
	1. 長野県薬物乱用対策推進協議会の運営	直接	・長野県の薬物乱用意識の醸成のため、加盟団体を通じた啓発活動及び「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の実施		168	67	168					
	2. 若い世代への「薬物乱用防止」意識啓発委託事業	委託	・若い世代への薬物乱用防止啓発のため、高等学校で薬物乱用防止教室を実施 （実施回数：20回、委託先：長野ダルク）		504	504	504					
	3. 薬物乱用防止指導員の活動	直接	・地域での薬物乱用防止啓発を推進するため、薬物乱用防止指導員を設置（373人）		1,415	1,201	1,415					
	4. 啓発用ラジオスポット放送	直接	・若い世代への薬物乱用防止啓発のため、FM長野のラジオスポットを活用して集中的な啓発活動を実施		427	427	427					
	5. 薬物乱用防止に係る教育意識啓発事業	直接	・若い世代への薬物乱用防止啓発につなげるため、長野大学等を訪問し、学生指導担当者を対象に研修会を実施（4回）		233	97	201					
	合計				2,747	2,296	2,715					
事業コスト	区分（単位：千円）	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29 目標
		当初予算	2,513	2,747	2,715				目標	成果	達成状況	
		補正予算										
		合計（A）	2,513	2,747	2,715							
	Aの財源	一般財源		233	201	講演実施高等学校数	20校	20校	20校	20校	達成	－
		県債										
		国庫支出金										
		その他	2,513	2,514	2,514							
	決算額（B）	2,363	2,296									
概算人件費	職員数（人）	1.70	1.70	1.70								
	概算人件費（C）	14,069	13,454	13,454								
概算事業費（B（A）+C）	16,432	15,750	16,169									
目標に対する成果の状況	・薬物乱用防止教室の講演会開催については、高校生が薬物依存経験者の体験談等を直接聞き、共に話し合う場となることから高等学校からの依頼が多く、上限である20校で実施し、若い世代の薬物乱用防止の意識高揚を図ることができた。 ・指導員活動回数については、教職員に対する啓発活動の減少により未達成であったが、全体の薬物乱用防止啓発活動の実施回数及び対象者数は昨年度を上回り、受講者の感想文の内容等から薬物乱用がもたらす弊害を各事業で伝達できた。											

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	各高等学校からの希望状況によっては、「薬物乱用防止意識啓発事業」の拡大検討も視野に入れるとともに、長野県薬物乱用防止指導員による地道な啓発活動により、薬物乱用防止に関する意識の高揚を図っていく。